この画面右側にDONGRI辞書を表示できるアドイン機能を使うと便利です。 

↓のリンクから、アドインの操作説明ページにジャンプします。

　　[Office版](https://www.east-education.jp/dongri_academy/guide/dongri_use/12277/)　／　[Google for Workspace版](https://www.east-education.jp/dongri_academy/guide/dongri_use/12666/)

**１．はじめに**

　「品詞」とは、単語をそのはたらきによって分類したものです。「品詞」の中には、例えばものや人などを指す「名詞」や、動作や状態を表す「動詞」などがあります。辞書によって細かな違いはありますが、品詞の区別は次の様に記号で表示されています。



**２．次の語には、２つ以上の品詞の意味があります。DONGRIで調べ、品詞をすべて書き出しましょう。**

| 例 | hard | 形容詞、副詞 |
| --- | --- | --- |
| １ | watch |  |
| ２ | study |  |
| ３ | fine |  |
| ４ | water |  |

**３．次の語には、名詞と動詞の意味があります。DONGRIで調べ、それぞれの意味を書きましょう。**

| 例 | ice | 動詞 | 凍らせる | 名詞 | 氷 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | work | 動詞 |  | 名詞 |  |
| ２ | report | 動詞 |  | 名詞 |  |
| ３ | book | 動詞 |  | 名詞 |  |
| ４ | match | 動詞 |  | 名詞 |  |

**４．終わりに**

　　辞書を引く時、自分が知りたい品詞を考えながら調べることで、辞書中の多くの意味の中から知りたい意味をすぐに見つけることができます。また反対に、いろいろな品詞の意味に目を向けると、bookやmatchのように、名詞と動詞で少し異なった意味を知り、語彙の世界を広げられるかもしれません。これからの学習でも、品詞を意識しながらDONGRIを使ってみてください。

最後に、英語辞書学が専門の関山先生のコラムを読み、英語の品詞について、学習のまとめをしましょう。

[品詞を意識して辞書を引こう！](https://www.east-education.jp/dongri_academy/column/dongri-articles/9055/)　（クリックして、コラムページにジャンプすることができます）

この画面右側にDONGRI辞書を表示できるアドイン機能を使うと便利です。 

↓のリンクから、アドインの操作説明ページにジャンプします。

　　[Office版](https://www.east-education.jp/dongri_academy/guide/dongri_use/12277/)　／　[Google for Workspace版](https://www.east-education.jp/dongri_academy/guide/dongri_use/12666/)

**１．はじめに**

　「品詞」とは、単語をそのはたらきによって分類したものです。「品詞」の中には、例えばものや人などを指す「名詞」や、動作や状態を表す「動詞」などがあります。辞書によって細かな違いはありますが、品詞の区別は次の様に記号で表示されています。



**２．次の語には、２つ以上の品詞の意味があります。DONGRIで調べ、品詞をすべて書き出しましょう。**

| 例 | hard | 形容詞、副詞 |
| --- | --- | --- |
| １ | watch | 名詞、動詞 |
| ２ | study | 動詞、名詞 |
| ３ | fine | 形容詞、副詞、名詞、動詞 |
| ４ | water | 名詞、動詞 |

**３．次の語には、名詞と動詞の意味があります。DONGRIで調べ、それぞれの意味を書きましょう。**

| 例 | ice | 動詞 | 凍らせる | 名詞 | 氷 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | work | 動詞 | 働く | 名詞 | 仕事、作品 |
| ２ | report | 動詞 | 報告する | 名詞 | 報告、報告書 |
| ３ | book | 動詞 | 予約する | 名詞 | 本 |
| ４ | match | 動詞 | 似合う、調和する | 名詞 | 試合 |

**４．終わりに**

　　辞書を引く時、自分が知りたい品詞を考えながら調べることで、辞書中の多くの意味の中から知りたい意味をすぐに見つけることができます。また反対に、いろいろな品詞の意味に目を向けると、bookやmatchのように、名詞と動詞で少し異なった意味を知り、語彙の世界を広げられるかもしれません。これからの学習でも、品詞を意識しながらDONGRIを使ってみてください。

最後に、英語辞書学が専門の関山先生のコラムを読み、英語の品詞について、学習のまとめをしましょう。

[品詞を意識して辞書を引こう！](https://www.east-education.jp/dongri_academy/column/dongri-articles/9055/)　（クリックして、コラムページにジャンプすることができます）